

週 報

「信じます。

不信仰なわたしを、

お助けください」。

(マルコによる福音書第9章24節)



人と神、人と人をつなぐ難しい働きをしています

日本基督教団 西宮公会堂

〒662-0834

兵庫県西宮市南昭和町 10-22

TEL 0798-67-4691

FAX 0798-63-4044

郵便振替 01170-3-4901

ホームページアドレス

<http://www.koudou.jp/>

電子メールアドレス

koudou@gamma.ocn.ne.jp

小さな手大きな手

(前週よりのつづき)

「私たちの DNA は塩基で結合されてすべての構造を形づくっているのですが、それらを相互に結び付けているエネルギーは、わずか数エレクトロボルト (ev) にすぎません」「放射線は...レントゲンを撮った時に受けるエックス線は、約 100 キロ ev です。...10 万 ev」「JCO 臨界事故の大内さん藤原さんの DNA が引き受けることになったのは、数 ev のエネルギーに比べて、数十万から数百万倍」「生命代謝がズタズタに引き裂かれた」「(原発のウソ) 小出裕章、扶桑社新書)。

- ・ 7 月 18 日 「復興協力本部長 (全国知事会)、除染土壌の県外最終処分や再生利用『全国で考えるべき』『原発安全、防災対策求める、廃炉進展や東電指導體制強化」

東日本大震災からの復興を早期に成し遂げるための提言の主な内容

- ・ 国主導による中長期ロードマップに基づく東京電力福島第 1 原発の廃炉の推進
- ・ 森林、林業の再生に向けた放射性物質対策の着実な推進
- ・ 2045 年 3 月までに除染土壌の県外最終処分を確実に実施
- ・ 風評を払拭するための正確、効果的な情報発信
- ・ 特定帰還居住区域の早期避難指示解除に向けたインフラ整備、営農再開のための農地の原状回復に対する支援
- ・ 復旧・復興が成し遂げられるまで手厚い財政支援措置の継続
- ・ 被災地の魅力ある教育環境整備のための支援継続
- ・ 福島・国際研究産業都市 (イノベーション・コースト) 構想に全国の企業が参画できる仕組みづくりの推進

2026 年 7 月 18 日、福島民報

- ・ 7 月 22 日 「『風評・風化対策強化を』 2027 年度予算構成、県・政府に 6 項目要請へ」「除染土壌、県外処分工程明示を、国への提言で内堀知事」
- ・ 7 月 24 日 「東電男性社員が原発構内で飲水」「環境省、中間貯蔵施設の役割とは、10 月 1 日、9 日県民ツアー」
- ・ 7 月 28 日 「特定帰還区域、営農再開へ本格調査、政府、事故発生前の情報聞き取り」「復興再生協議会、知事、政府に 6 項目要請」

【国に対する県の主な要請事項】

- ①避難地域の復興・再生
▷農業の復興・創生を果たすためのハード対策とソフト対策の一体的かつ機動的な実施のための予算確保
- ②避難者らの生活再建
▷双葉地域における中核的病院の整備や人材確保に必要な予算の確保
- ③風評払拭・風化防止対策の強化
▷ALPS 処理水の処分に関する安全確保の徹底、国内外への正確な情報発信
- ④福島イノベーション・コースト構想の推進
▷重点6分野における各取り組みや実用化開発、事業化促進などをさらに促進するための予算確保
- ⑤地域産業の再生と新産業の創出
▷福島新エネ社会構想などの実現に向けた再生可能エネルギーのさらなる導入拡大、水素先進県の実現に向けた支援
- ⑥インフラなどの環境整備、除去土壌などの県外最終処分に向けた取り組みの推進
▷除去土壌などの県外処分に向けた2045年3月までの具体的な工程表の速やかな明示

2026 年 7 月 28 日、福島民報

- ・ 7 月 29 日 「『高レベル放射性廃棄物最終処分場選定』佐賀、玄海町長選当選者発言に経産相」
- ・ 7 月 30 日 「東電発表、第 2 原発の核燃料プール冷却一時停止、ケーブルの施工不良原因」

(次週につづく)